

2018(平成30)年度 学校自己評価のまとめ

上田東高等学校

評価について				
各評価の観点について、十分実現されていると思うか、個人および各担当分掌が以下の評価基準で評価した。				
そう思う…4	少しそう思う…3	あまりそう思わない…2	そう思わない…1	自分には評価できない…0

重点目標	取り組み	評価の観点	個人評価平均	分掌評価者	分掌評価	分掌評価者によるコメント
(1) 学力向上・進路希望の実現とキャリア教育の充実	① 学力向上に向けての取り組みの充実	・定期考査に向けて、学習環境を充実させ、生徒の学習意欲を高め、学習の質・量を向上させることができたか。	3.0	企画	3	学習意欲の向上につながるような学習環境の整備ができた。
		・日常の家庭学習の習慣が身につくよう、予習・復習を定着させ、校内では朝ドリルなどを実施し、学習意欲を向上させることができたか。	2.7		3	SHRの時間を利用した朝ドリルの実施など、学習習慣の定着につながる取り組みができた。
	② 進路指導の充実	・より適切な進路選択ができる力をつけさせることができたか。	2.9	進路	3	進路行事やオープンキャンパス等への参加を促し、主体的に選択できるようにした。進路選択に活かせるよう、今後の入試や大学入試改革の情報収集に努めたい。
		・補習授業や模擬試験を生徒のステップアップにつなげられたか。	2.8		3	生徒のステップアップにつながってはいるが、普段の学習活動にも目を向けさせ、力をつけさせたい。
		・生徒の進路希望を実現できたか。	3.0		3	多くの生徒の進路希望を実現させることはできたが、よりきめ細かな指導が必要である。
	③ キャリア教育の充実	・現在の学習と将来の職業生活との関係を理解させ、学習意欲を向上させることができたか。	2.9	キャリア	3	四年制大学志望者の中には就業体験に参加していない生徒が多いので、LHRや学年・進路行事において、適宜指導が必要である。
・就業体験など体験的学習を一層進め、生徒自身に自己の成長や課題に気づかせることが出来たか。		2.8	3		就業体験を通して、勤労・職業についての理解を深め、卒業後の進路選択について自ら考える機会となった。	
(2) 生徒諸活動への支援	① 生徒会活動の充実	・生徒会活動をととして自主性・協調性や社会貢献の精神を育成できたか。	3.3	生徒会	4	学校行事や総務の活動などでは自主性、協調性や社会貢献の精神を大いに育成する面もあるが、日常の委員会活動等で課題があるものもある。
		・クラブ活動への加入を推進できたか。	3.0		3	オリエンテーションや各クラブ紹介の掲示など新入生に対するクラブ加入の取り組みもあり4月当初の加入率は87.1%(5月時点・兼部含む)と高いが、退班者も一定数あり再加入働きかけ等の点では課題がある。
	② クラブ活動の充実	・クラブ活動を通して自主性・協調性を育成できたか。	3.3		4	各クラブが活発に活動し、自主性・協調性を育むことができています。
① 外部連携の拡大		・同窓会・PTAとの連携は十分行われたか。	3.2	企画	4	130周年にむけて積極的な連携をはかることができた。
	・学校評議員会を予定通り実施し、外部連携を深められたか。	3.2	3		例年通りの取り組みができた。	
	・上田養護学校等との交流を通じて学校間の連携が深められたか。	3.3	4		次年度につながるような積極的な取り組みができた。	
(3) 地域連携と開かれた学校の創造	② 情報の発信と要望の受容	・公開授業を保護者や中学生に対して充実したものとして実施できたか。	3.2	企画	3	例年並みの取り組みを行い、多くの中学生や保護者が参加した。
		・学校行事、生徒会活動、クラブ活動等について積極的にHPに掲載し、学校からの情報発信が進んだか。	3.1		4	HPを全面的に更新し、日常的な情報発信を心掛けた。
		・保護者、生徒アンケートを実施し、意見要望の受容ができ、その内容を検討、改善できたか。	3.2		3	例年並みに取り組み、課題を共有化できた。
(4) 生徒の健全育成と安全安心な学校づくり	① きめ細かな生徒指導の実施	・基本的生活習慣の確立によりマナー・ルールを守る精神を育成できたか。	3.1	生指	3	自転車の乗り方など、再三の注意にもかかわらず、地域からの苦情がある。来年に向けて、さらに、注意喚起を促したい。
		・いじめや暴力を許さない指導を有効に実施することができたか。	3.3		4	学年、その他の係と協力して取り組みました。ただ、SNS等の、目に見えづらい事案の指導について課題があると思われる。
	② 生徒支援生徒相談体制の拡充	・不登校や発達障害など問題を抱える生徒への支援・相談を有効に実施できたか。	3.2	保健	3	生徒の話に耳を傾け、SCや職員と協力しながら、支援・相談を有効に行うことができた。
		・生徒の健康管理、安全管理を適切に行うことができたか。	3.2		3	担任や教科担任と情報共有を行い、生徒が元気で安全な学校生活を送れるよう心がけた。
	③ 危機管理の徹底	・防災対策は災害に対して有効に機能できるものであったか。	3.0	教務事務	3	例年通りの計画に従い、対策を講じた。
		・学校危機に現実に対応できるマニュアルの点検と整備ができたか。	2.9		3	例年通りの点検と整備を行った。
・工事中の安全確保を含め、学校施設の安全管理を徹底できたか。		3.1	4		工事の施工に当たり、安全の確保を徹底した。	